

# アブラハムの物 (5/7) : ハガルの立たされた苦境とその意味

TOP20

明:  
アブラハムによるエジプトへの旅、イシュマエルの 生、そしてハガルのパランでの受 についての  
叙述。

目:[事イスラ ムの信条](#) [言者の物](#)

より: IslamReligion.com

日3 Jan 2012

集日 11 Nov 2013

## カナンとエジプトでのアブラハム



アブラハムはカナンで数年 に渡り、町から町へと移 しながら人々を神へといざない け  
ました。しかしあるとき が い、彼とサライはエジプトへの南下を余 なくされました。  
エジプトでは独裁者ファラオが に入った女性を することで知られていました  
。イスラ ムにおけるこの叙述は、ユダヤ キリスト教のものとは著しく なるものです。  
者においては、アブラハムがサライを自分の妹だと ることにより2  
、ファラオの危害から逃れたとされています3  
。そしてファラオがサライを妻として 廷に迎え入れることと引き えに、アブラハムは  
を手にしました。ところが、 廷が酷い疫病に われたとき、ファラオは彼女がアブラハ

ムの妻であることに付き、その事をえなかった彼に を加え、エジプトから追放したとされているのです<sup>4</sup>。

アブラハムはサライがファラオの注意を引くことを予期していたので、彼女にはもしファラオが求めてきたら、自分をアブラハムの妹と言うように えてありました。彼らが王国に入ると、予想通りファラオが彼とサライの について ねてきたため、アブラハムは彼女を自分の妹であると答えました。その返答は彼の欲望を多少は抑えましたが、それにも わらず彼は彼女を捕らえました。しかし、全能なる御方の保 によって、彼女は邪 な策略から救われました。欲望に突き かされたファラオが彼女を召 した、サライは神へと祈りを捧げました。ファラオがサライに触れようとした瞬 、彼の上半身が硬直しました。激痛の中ファラオは、サライがこの状 を してくれるよう祈ってくれるのであれば、解放を 束する、と彼女に しました。彼女は彼のために祈りましたが、その 3度目の企ての 、彼はようやく めたのです。サライの特 な性 に 付いたファラオは、彼女の兄とされる人物の元に彼女を返しました。

アブラハムが祈っている最中に、サライはファラオからの 呈品、そして彼の娘であるハガル（ユダヤ キリスト教の 承によれば女中）を携えて ってきました。サライはファラオと多神教徒エジプト人たちに、 烈なメッセジを したのです。

彼らがパレスチナに っても、神による 束にも わらず、依然としてサライとアブラハムは子宝に まれませんでした。不妊の妻が子供を望む夫に して女中を ることは、当 において一般的な 行

であったため、サライはアブラハムがハガルを妾とすることを示唆しました。一部のキリスト教学者はこの出来事について、彼は にはハガルを妻として娶ったとしていま

す<sup>7</sup>。いずれにせよ、ユダヤ教とバビロニアの 承においては、妾に生まれた子供は妾の女主人によって 知され、相 も含めて自らの子供と同じ いを受けるとされ<sup>8</sup>ます。ハガルはパレスチナで、イシュマエルを生みました。

## マッカにおけるアブラハム

イシュマエルがまだ乳 だった 、神は再びアブラハムの信仰を し、ハガルとイシュマエルをヘブロンの南 1000キロにある、不毛の地バッカへと れていくことを命じました。そこは に、マッカとして知られるようになります。彼らは子供を待ち望んでおり、 ぎの 生に心から喜んでいたため、それは に大いなる でした。命令は、その不毛さと 酷な境で知られる く れた地に、子供を れて行くというものだったのです。

クルア ンでは、それはイシュマエルがまだ幼いときのアブラハムの であったことを主しますが、バイブル及びユダヤ キリスト教の 承によると、それは乳 れした のイシュマエルがイサクをからかったこと<sup>910</sup>

に 激したサライの、アブラハムに するハガルとイシュマエル追放の要求だったとしています。もしそうであったなら、ユダヤ教における乳 れの一般的な年 <sup>13</sup>であるため、このことはイシュマエルが当 <sup>172</sup>であったこととなります。バイブルの 述にあるように、ハガルがこの成 した若者を抱え、パランへと何百キロも旅し、到着 「木の下に彼を寝かせる<sup>13</sup>」  
のは 理的に不可能であるかに思えます。これらの でイシュマエルは、追放が叙述されるときとは の言 によって言及されています。その言 は彼が若者ではなく、赤ん坊であった可能性を含む、非常に若かったことを示しているのです。

アブラハムは一 的にハガルとイシュマエルと滞在した 、水の革袋とナツメヤシを残して立ち去りました。アブラハムが彼らを残して き出すと、ハガルは心配になりました。アブラハムは ろを振り返りませんでした。ハガルは追いかけて ねます。

「アブラハムよ、私たちを残してどこへ行くのですか？ この 谷には もおらず、何もありません。」

アブラハムは を速めました。最 的にハガルはこう ねます。

「神がそうするよう求められたのですか？」

アブラハムは急に立ち止まり、言いました。「そうだ。」

その回答に、ある程度の安 を出したハガルは言います。

「アブラハムよ、あなたは に私たちを委ねるのですか？」

アブラハムは答えて言いました。「神のご加 に、あなたがたを すのだ」

ハガルは神への服 心からこう言いました。

「私は神と共にいられれば、それで 足です。」 [14](#)

彼女がイシュマエルのもとに る 、アブラハムは山 の い道まで み、彼らから えなくなると 、立ち止まって神へと祈りました。

“??  
??14?37?

水とナツメヤシがなくなると、ハガルは焦り始めました。喉の きを すことも、授乳することも出来なくなった彼女は水源を探し始めました。イシュマエルを木 に残し、 接の小高い岩山に登りました。「もしかしたら近くをキャラバンが通っているかも」と考えたのです。彼女は水と助けを求めてサファ 、そしてマルワという二つの丘の を7回に渡って け けました。この出来事はムスリムたちによって、巡礼の中で体 されることになります。疲れ果て狼 した彼女は声を きましたが、それがどこから こえるのかは分かりませんでした。谷 の底を 渡すと、そこにイシュマエルの に立つ天使を目にしました。この天使は、イスラ ムの [典5](#)

においてガブリエルであるとされています。ガブリエルがイシュマエルの をかかると、水がこんこんと き出てくる奇 が起きたのです。ハガルはそのまわりに みを作り、革袋を たしました [16](#)。ガブリエルは言いました。

「置き去りにされたことを恐れてはなりません。ここにはこの子と彼の父によって、神の が建てられるのですから。神は彼の民を して にはされませ [17](#)」

この泉はザムザムと呼ばれるようになり、アラビア半 マッカにおいて 在なお き けています。

その もなく、アラビア半 南部から移 していたジュルハム族が、 の群れがこの方向に んで行く珍しい光景（つまり水 が存在するという意味）を て、マッカの 谷を れました。

彼らはそこに定住するようになり、イシュマエルは彼らと共に育ちました。

この泉については、バイブルの 世 21章において似通った叙述がされています。そこでは、ハガルがイシュマエルから ざかった理由として、助けを求めるためではなく、彼の死にゆく姿を たくなかったからだとされています。イシュマエルが きから泣きじゃくり出すと、彼女はイシュマエルの死の不安を彼女から取り除くよう、神に祈りだしたとされているのです。泉の出 は、彼女の祈りからもたらされたものではなく、イシュマエルが泣きじゃくっていたことによるものだとされ、助けを求めるハガルの努力に する 告は全く存在していません。またバイブルでは、その泉は彼らが定住することになったパランの荒野にあったとされています。ユダヤ キリスト教学者たちは、申命 33: 2におけるシナイ山の 述から、パランがシナイ半 北部のどこかにあったと言及しますが、近代バイブル考古学者たちは、 のシナイ山は 在のサウジアラビアにあるとし、そのことはそこにパランがあったことも必然的に意味します<sup>18</sup>。

---

## Footnotes:

<sup>1</sup> Fath al-Bari.

<sup>2</sup>

世 20: 12によると、サライはアブラハムの 母妹であるため、その 婚は近 相 を意味しますが、アル=ブハ リ を始イスラ ムの典 では、サライはあくまでも信仰上の妹なのであり、より大きな害 を逃れるためにアブラハムが3度だけ た嘘の内の1度なのであります。

<sup>3</sup> 承に加え、あまり 部について述べられていない物 が、バイブルの 世 12: 11 20においても言及されています。

<sup>4</sup> Sarah. Emil G. Hirsch, Wilhelm Bacher, Jacob Zallel Lauterbach, Joseph Jacobs and Mary W. Montgomery. (<http://www.jewishencyclopedia.com/view.jsp?artid=245&letter=S>). Abraham. Charles J. Mendelsohn, Kaufmann Kohler, Richard Gottheil, Crawford Howell Toy. The Jewish Encyclopedia. See also Genesis: 12:14-20.

5 Sarah. Emil G. Hirsch, Wilhelm Bacher, Jacob Zallel Lauterbach, Joseph Jacobs and Mary W. Montgomery. (<http://www.jewishencyclopedia.com/view.jsp?artid=245&letter=S>). Abraham. Charles J. Mendelsohn, Kaufmann Kohler, Richard Gottheil, Crawford Howell Toy. The Jewish Encyclopedia.

6 Pilegesh. Emil G. Hirsch and Schulim Ochser. The Jewish Encyclopedia. (<http://www.jewishencyclopedia.com/view.jsp?artid=313&letter=P&search=pilegesh>).

7 (<http://whosoeverwill.ca/womenscripturehagar.htm>, <http://www.1timothy4-13.com/files/proverbs/art15.html>).

8 (<http://www.studylight.org/com/acc/view.cgi?book=ge&chapter=016>).

9 世 1: 9

1 0 Ishmael. Isidore Singer, M. Seligsohn, Richard Gottheil and Hartwig Hirschfeld. The Jewish Encyclopedia. (<http://www.jewishencyclopedia.com/view.jsp?artid=277&letter=I>).

1 1 マカバイ 二7: 27、代 下31: 16

1 2 アブラハムはイシュマエルの 生 は86 ( 世 16: 16)、イサクの 生 は100 ( 世 21: 5) でした。

1 3 世 21: 15

1 4 サヒ フ ブハ リ

1 5 ムスナド アフマド

1 6 似た叙述がバイブルにおいても存在しますが、 は大幅に なります。参考: 世 21: 16 19

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/296>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。